

1. 第1回理数科シンポジウム

4月22日(水)第1回理数科シンポジウムが行われました。これは、理数科の1年生から3年生までが集まり、下級生が課題研究や高校での生活について先輩からアドバイスしてもらうものです。これから始まる課題研究を進めるにあたり大いに参考になり、不安も少しは解消されたようです。今回のシンポジウムに参加して、1年生がよかったと思うことをまとめてみました。

あと2回シンポジウムを実施しますが、先輩の生きた経験を参考にして、有意義な高校生活を送ってほしいと思います。

～シンポジウムアンケートから 参考になったこと～

- ・情報を共有する
- ・データの記録をとる
- ・メモをこまめにとる
- ・グループ内で分業する(協力する)
- ・しっかり話し合う
- ・いろいろな人(先生、先輩など)に相談する
- ・いろいろな視点から考える(多様な意見を取り入れる)
- ・計画をしっかりとてる(放課後の利用など)
- ・毎時間ごとの目標を設定する
- ・研究にしっかり関わる(主体的に)
- ・とにかく課題研究を楽しむ



2. 科学の甲子園(全国大会)に参加して

令和3年3月19日(金)～21日(日)、茨城県つくば市つくば国際会議場にて行われた科学の甲子園に、理数科3年の8人が参加してきました。参加しての感想を紹介します。

～参加者、目黒希さんのコメントから～

実技競技③は唯一、事前に資料や材料が配られた競技であったため、準備時間もほかの競技と比べて比較的多くとりました。数えきれないほどの試行錯誤を重ねて、完成したウインドカーが本番に会場で完走したときには、決して全国上位入賞することができたわけではなかったですが、非常に感慨深かったです。練習の時から、他の46都道府県のチームは一体どのような形のウインドカーを作成してくるのかと楽しみでした。当日は予想をはるかに超えるようなウインドカーがたくさんあり、全国の広さを思い知ったと共に、全国に触れるとうい経験は、今後の科学を学ぶことへの糧になったと確信しています。